# 平成26年度事業報告書



社会福祉法人草津市社会福祉協議会



(5)市社協の基盤づくり

# 目 次



総括	•	•	•	•	•	•	2
【事業報告】							
(1)地域福祉活動の周知・啓発	,	•	•	•	•	•	3
(2)地域福祉力の向上		•	•	•	•	•	9
(3)ボランティア活動の充実と住民参加の仕組みづくり		•	•	•	•	•	1 5
(4)地域生活を支える事業の推進		•		•			2 1

この事業報告書は、第2次地域福祉活動計画 (H24~H28) の進捗・評価の観点から、活動計画の推進項目と整合性を持 たせた構成としました。





# 1.総括

平成26年度は、市社協の第2次地域福祉活動計画の中間年度にあたる中、地域福祉を取り巻く環境は急激に変化しています。草津市は、人口増加が続いており、県内でも高齢化率はまだ低いものの、高齢者人口は着実に増加し、都市化の進展により、近所づきあいや支え合いの希薄化などの地域福祉力の低下が見受けられます。一方、国の地域福祉関係の法令の改正などにより、社会福祉協議会や地域福祉活動に大きな変革も求められています。

また、草津市協働のまちづくり条例の施行により、市社協は今日まで培ってきた地域福祉推進のコーディネート力を更に発揮することを期待され、平成26年7月1日に協働のまちづくり推進の中間支援組織に指定されました。

このような中、平成26年度は3つの重点事業を掲げ、地域福祉活動を推進いたしました。

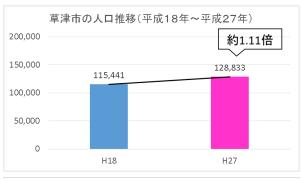
1つ目の地域福祉活動推進の支援強化事業につきましては、老上学区・山田学区を実践地区とし、第 2次住民福祉活動計画の策定と重点事業推進のために支援いたしました。その取組みについては、福祉 活動推進員育成講座ステップアップ講座2において報告いただきました。

2つ目の地域支え合い運送支援事業につきましては、志津南学区、山田学区において、9月、11月にそれぞれ運行を開始いただき、他学区からも運行を開始したいとの申出を受けており、地域支え合い活動の広がりに大きく寄与いたしました。

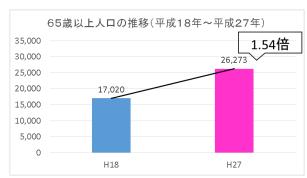
3つ目のまちづくり推進団体との協力・連携につきましては、草津市コミュニティ事業団と情報共有をはじめ、ホームページの相互活用や協働事業の実施にむけ協議を進めてきました。

その他、市社協の様々な相談支援や生活困窮者への生活福祉資金等の貸し付け、各学区社協を中心に 住民と共に地域福祉活動の取り組みを進めてきました。

このような事業展開を通じて「こころ温かく支えあい 住みつづけたい 福祉のまち・くさつ」の実現に向けて、今後もより一層の取り組みを進めてまいります。









# 2. 事業報告

## (1)地域福祉活動の周知・啓発

子どもから高齢者まで一人ひとりが尊重され、くらしの課題を他人ごととしない福祉の 風土づくりに取り組みます。

# ●広報紙「社協くさつ」発行事業

1,446,810 円

市社協広報紙「社協くさつ」を年4回発行し、住民の福祉活動に着目した広報・啓発に努めました。

- ○平成26年6月15日号(No.141) …福祉活動推進員育成講座、市社協事業計画・予算、報告・決算、は一いボランティアセンターです等
- ○平成26年9月15日号 (No.142) …第3回ボランティアフェスティバル、

赤い羽根共同募金特集、介護者リフレッシュ事業 は一いボランティアセンターです

地域支え合い運送支援事業、職員採用試験等

○平成26年11月1日号(No.143)…市民ふれあい秋まつり報告、社会福祉功労者表彰、 第3回ボランティアフェスティバル、

地域福祉活動推進委員会、歳末たすけあい募金配分

○平成27年3月15日号 (№1144) …災害ボランティアセンター運営訓練報告、

第3回ボランティアフェスティバル報告、

は一いボランティアセンターです、共同募金・日赤お礼、

社明作文コンテスト、賛助会費紹介等

# ●「広報くさつ」点字版作成・配布事業

244,000 円

1級から4級の視覚障害があり、広報「くさつ」の配付を希望される方に、毎月1日号を基本に点訳し、郵送しました。

配付対象	配付先人数等	配付数
視覚障害者	$4\sim5$ 人	4 9 部
障害者福祉センター	1カ所	12部

## ●ホームページ事業

379, 991 円

ホームページにタイムリーな情報を掲載し、地域福祉活動への関心を 高めるため、Facebook を活用しました。またコミュニティ事業団と協働 して、貸出物品の情報サイト「レンタルねっと☆くさつ」の情報を掲載 し、市民に貸出事業を活用しやすいようにしました。



# ●「ふくちゃん」啓発

99,846円

ボランティアフェスティバルや市民ふれあい秋まつり、また、市内で行われる様々なイベントに参加し啓発をおこないました。

	開催日	内容	依頼団体	参加者
1	平成26年 4月27日(日)	宿場まつり	_	85,000人
2	5月11日(日)	「民生委員児童委員の日」 〜地域で広げよう子育ての輪〜	草津学区 民生委員児童委員協議会	100人
3	5月24日(土)	2014 年スプリングフェスタ i n 矢橋帰帆島公園	ひかりグループ	12,000人
4	5月25日(日)	草津市 いきいきふれあい大運動会	草津市 心身障害児者連絡協議会	550人
6	10月18日(土)	市民ふれあい秋まつり	_	1,800人
7	10月19日(日)	秋桜フェスタ Part-19	滋賀自立生活センター	100人
8	10月24日(金)	渋川学区ふれあいまつり	渋川学区社会福祉協議会	2,000人
9	10月31日(金) 11月 1日(土)	2014 玉川萩まつり	玉川学区まちづくり協議会 玉川萩まつり実行委員会	3,500人
1 0	11月 1日(土)	民生委員・児童委員 活動報告紙「にりん草」	大路区民生委員児童委員	(画像使用)
1 1	11月 2日(日)	第 32 回青地第二町内会文化祭	青地第二町内会	6 O O 人 (画像使用)
1 2	11月 8日(土)	第3回 ボランティアフェスティバル	_	750人
1 3	12月12日(金)	志津地区高齢者ふれあいサロン	志津社会福祉協議会	45人







# ●市社協のしおり作成

130,000円

賛助会の募集や研修会等で、市社協の活動を知っていただくために 2,000部作成しました。



●敬老会の支援 76,000 円

敬老月間に長寿を祝い、地域の支え合いや見守り活動につなげるための敬老会事業の実施を支援しました。

学区	開催日	開催場所	対象者
南笠東学区	9月13日(土)	南笠東小学校体育館	875人
大路区	9月14日(日)	市立サンサンホール	1,216人
笠縫学区	9月15日(月)	笠縫小学校体育館	2,206人
矢倉学区	9月15日(月)	矢倉小学校体育館	1,515人
笠縫東学区	9月15日(月)	笠縫東小学校体育館	1,479人
老上学区	9月15日 (月)	老上小学校体育館	2,266人
山田学区	9月15日(月)	市立武道館	1,653人
志津南学区	9月15日(月)	志津南市民センター	599人
玉川学区	9月21日(日)	玉川小学校体育館	1,296人
渋川学区	9月21日(日)	渋川小学校体育館	1,013人
志津学区	各町内会		959人
草津地区	各町内会		1,475人
常盤学区		各町内会	1,778人

# ●福祉を考える市民のつどい

310,754 円

市民ふれあい秋まつりと合同開催し、地域福祉活動やボランティア活動などを知り、いろいろな体験を通じて「福祉」について考えるきっかけの場を提供しました。また、11月に開催した第3回ボランティアフェスティバルのキセキの風船飛ばし「大切な人へのメッセージ」を募集し、啓発を行いました。

開催日:平成26年10月18日(土)10時~15時

場 所:市役所1階

内容:

社協事業、地域サロン活動の紹介

(社協が取り組んでいる事業のパネル展示や地域サロンの活動紹介、 貸出備品の展示)

ガチャガチャ共同募金

ボランティア活動紹介(ボランティア連協主催)

民生委員児童委員活動紹介(市民児協主催)

体験しよう!風呂敷でおしゃれラッピング!

(風呂敷の使いこなし術を楽しく習得できる体験コーナーの設置)

市社協キャラクター「ふくちゃん」による啓発

対 象:市民

参加者:1,800人







●近所カアップ講座

4,996 円

地域に職員が出向き、より身近な福祉の専門職として、住民どうしのつながりや地域福祉活動の大切さを伝えました。







合計参加者:317人

	学区	開催日	内容	依頼団体	参加者
-1	志津	平成26年	やさしい福祉!おしゃれな言葉で気づく福祉	よっぱ 人	0.0.1
1	心律	4月24日(木)	の大切さ	あそぼ一会	23人
2	渋川	6月20日(金)	古典学が排標で二年に貰き」 使けるために	渋川学区	201
2	(३२) ।	0月20日(金)	高齢者が地域で元気に暮らし続けるために	社会福祉協議会	32人
3	老上	7月19日(土)	高齢者が安心して生活するために	湖州平喫茶サロン	41人
4	笠縫		ご近所のつながりを大切にしていきいきとし	南出老人クラブ	16人
4	立工和主	8月20日(水)	た高齢期をすごすためには	曽田老八クノノ	16人
5	笠縫	10月18日(土)	考えよう医療福祉~みんなが安心して地域で	笠縫学区	40人
5	立工利圭	10月10日(上)	暮らすために~	社会福祉協議会	40人
6	草津	10月24日(金)	ゆかい家の説明	大字村井福祉会	20人
7	渋川	10月29日(水)	高齢者が地域で元気に暮らし続けるために	中五ゆうゆう会	30人
8	玉川	11月16日(日)	みんなが健康で楽しく暮らすために	御林山いきいきサロン	30人
9	志津	12月 7日(日)	安心して楽しくくらすみんなのおもい~ちょ	山寺町内会	40人
9	心件	127, 11(1)	っと地域福祉を勉強しよう~	田子門八五	40人
1 0	笠縫東	12月18日(木)	災害に備えて	笠縫東学区	30人
10	五爬水	127101(/ト)	次古に加えて	やすらぎ学級	30人
1 1	矢倉	平成27年	矢倉学区の今、そして未来・・・	矢倉学区	15人
	八石	1月31日(土)	八石 丁匹ツョ、『C U C 小木 ・・・	社会福祉協議会	137

# ●福祉活動推進員(市民コーディネーター) 育成講座の開催

339, 728 円

地域福祉推進のための中核的役割を担う「福祉活動推進員」の育成をすすめ、また地域福祉活動者 の拡大を目的として講座を開催し、平成23年度からの講座修了生は計122人になりました。

地域福祉を推進するために必要な知識の習得と地域福祉活動の理解を深めていただくための講座として、地域福祉に関心のある方や地域の役員の方、役員OBの方が多数参加しました。地域福祉活動の初心者入門講座から実践者の応用講座として活用いただき、修了者の情報は学区社協会長に伝え、地域活動への参加を呼び掛けました。

また、育成講座での基本的な学習を踏まえ、地域で熱心に活動を進めている実践者の経験発表から学び、身近な地域で福祉活動に一歩踏み出すための知識や技術を身につけていただくためのステップアップ講座を開催しました。

#### 【平成26年度福祉活動推進員育成講座】

講師:京都ノートルダム女子大学准教授 酒井 久美子さん

日程	開催日	内容	参加者
1日目	8月19日 (火)	今!福祉時代〜現代社会の変化を知る〜	5 3人
2日目	9月18日 (木)	協働・連携の意味を知ろう~今なぜ地域福祉なのか~	44人
3 日目	10月 6日 (月)	どうする?どうなる!地域福祉〜私たちのまちを実感しよう〜	41人
4日目	11月10日(月)	地域とくらしの課題、人のつながりの再構築 〜地域福祉活動の大切さ〜	41人
5日目	12月17日 (水)	学区社協活動の必要性 ~今だからこそ大切な住民主体と地域福祉活動~	43人

# 修 了 者:122人

(平成26年度に開催した全5講座を受講した者および平成23年度から通年で5講座を受講した者)

# ●第1回地域福祉活動ステップアップ講座

開催日:平成26年11月8日(土)

場 所:市社協2階研修室内容:「地域医療福祉」

講 師:草津総合病院副理事長 小山 茂樹さん

対 象:市社協理事、監事、評議員、市議会議員、各学区・地区・区民児協会長、

平成23~25年度福祉活動推進員育成講座修了者、

平成26年度福祉活動推進員育成講座受講者、地域福祉権利擁護事業生活支援員等

参加者:178人

# ●第2回地域福祉活動ステップアップ講座

開催日:平成27年2月18日(火)

場 所:市社協2階研修室

内 容:「草津市の地域福祉活動を知る!

~今の時代を生きぬく活動 そして活きる活動~」

講 師:大谷大学教授 山下 憲昭さん

報告者:志津南学区社協会長、南笠東学区社協事務局長、老上学区社協会長、山田学区社協会長

対 象:各学区・区社協会長、各学区・地区・区民児協会長

平成23~26年度福祉活動推進員育成講座修了者他

参加者:96人





# ●社会を明るくする運動

90,000円

○法務省の主唱により、すべての国民が犯罪防止と、罪を犯した人たちの 更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪の ない明るい社会を築く目的で7月1日の街頭啓発を皮切りに関係機関・ 団体と一体となり運動を推進しました。



協力団体:草津市、草津保護区草津支部保護司会、草津市青少年育成

市民会議、草津市更生保護女性会、草津市BBS会、草津警察署生活安全課、草津市青少年補導委員会、草津市教育委員会、草津市学区社会福祉協議会会長会

○県の作文コンテスト中学生の部において、本市中学校2校より54人が応募され、玉川中学校1年 の岩倉加奈さんが最優秀賞を受賞されました。

## ●草津宿場まつりへの参画

草津市社会福祉協議会の事業啓発を目的に啓発ブースで出展しました。子供向けクイズラリーにも参加し社協のPRと財源確保に努めました。

開催日:平成26年4月27日(日)

場 所:天井川会場

内容:「ふくちゃん」グッズの販売

ペットボトル販売

ガチャガチャ共同募金

市社協キャラクター「ふくちゃん」による啓発

参加者:85,000人









# (2)地域福祉力の向上

くらしの課題を共有し、解決に向けて地域福祉力の向上と住民主体の地域福祉活動の発展をめざします。

# ●地域サロン活動支援

8,571,065 円

地域サロン活動を通して、高齢者の見守り活動を推進し、身近な場所で支えあう関係づくりができるよう、サロン活動の拡充に努めました。

#### ○平成26年度の地域サロン

- ・参加者は延66,097人
- ・担い手数は延17,464人
- ・町内会設置割合は62.8%
- ・支援員訪問回数は年10回





年 度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
年間20回以上	1 1 0 グループ	106グループ	1 0 1 グループ	8 8 7 " 10-7"	8 1 グループ
年間10回以上	2 5 グ <i>ル</i> ープ	2 0 グループ	1 7 グループ	2 0 グループ	2 0 グループ
計	1 3 5 グループ	126グループ	1 1 8 グループ	108グループ	1 0 1 グループ

#### 【学区別サロン開催状況】

学区・区	年間20回以上開催団体	回数	参加者(延人数)
志津	6 団体	306回	3,794人
志津南	4団体	130回	2,247人
草津	7団体	387回	4,070人
矢 倉	9団体	373回	5,671人
大 路	9団体	464回	5, 132人
渋 川	7団体	3 3 0 回	3,915人
老上	7団体	361回	6,371人
玉 川	9団体	3 4 4 回	4,168人
南笠東	3団体	137回	1,640人
山 田	15団体	1,035回	9,526人
笠 縫	13団体	594回	8,103人
笠縫東	9団体	197回	2,664人
常盤	12団体	383回	3,817人
計	110団体	5,041回	61,118人

学区・区	年間10回以上開催団体	回数 (回)	参加者(延人数)
志津	3 団体	3 2 回	298人
志津南	0 団体	0 回	0人
草津	1団体	12回	155人
矢 倉	1団体	12回	352人
大 路	1団体	13回	100人
渋 川	5 団体	6 6 回	824人
老上	3団体	82回	1, 179人
玉 川	2団体	27回	5 3 3 人
南笠東	0団体	0 回	0人
山 田	2団体	24回	3 3 4 人
笠 縫	2団体	2 2 回	500人
笠縫東	1団体	16回	258人
常盤	4 団体	46回	446人
計	2 5 団体	352回	4,979人

# ●地域サロン交流会

43,530 円

日頃の思い、悩みなどを話し合い他のサロンと横のつながりを持ち課題を共有することで、今後 の活動に活かしていただくとともに、おもてなしの大切さ、つながることの大切さを学んでいただ くことを目的に開催しました。

開催日:平成27年2月18日(水)

場 所:市社協2階研修室

内 容: ①ウェルカム演奏~ミニ演奏会 「脳を若々しく保つには~」

②交流会「おしゃべりしましょ!地域サロンアンケートの中間報告とみんなと話したいこと」

講 師:①くもん学習療法センター 統括マネージャー 杉江 哲さん

②コーディネーター 北村 道和さん

対 象:地域サロンの担い手

参加者:88人







# ●地域サロン活動備品貸出

44,880 円

地域サロンの活動内容の充実や、地域サロンの啓発を目的としてサロン活動備品の貸出をしました。

地域サロン貸出備品	貸出件数	利 用 団 体
カロム	16件	地域サロン、老人クラブ、
輪投げ	13件	地域サロン、町内会、福祉団体
回想かるた	10件	地域サロン、老人クラブ
唱歌カルタ	9件	地域サロン、老人クラブ
とと合わせ	4件	地域サロン
十二支ビンゴ	9件	地域サロン
フックボールボードセット	12件	地域サロン、老人クラブ、町内会
麻雀セット	23件	地域サロン、学区社協、NPO法人、
州街ビグト	2 3 件	ボランティアグループ
ビデオ・DVD	26件	地域サロン、民児協
ミュージックベル	4件	地域サロン
トリコロキューブ	11件	地域サロン
しりとりブロックくずし	1件	ボランティアグループ
新・十扇	6件	地域サロン、老人クラブ
歌集	9件	ボランティアグループ、学区社協
プロジェクター	2件	地域サロン、ボランティアグループ
キーボード	1件	老人クラブ
音響一式	13件	ボランティアグループ

# ●寝たきり・認知症予防助成

90,000円

草津市老人クラブ連合会が実施する高齢者を対象とする健康増進事業に対して助成し、活動を支援しました。

# ●障害児者介護者リフレッシュ支援

40,000円

肢体不自由児者父母の会が中心となり実施する、肢体不自由児者や知的障害児者の家族の心身リフレッシュと介護者同士の交流・情報交換のための支援を行いました。

# ●知的障害者社会参加自立支援

25,000円

草津手をつなぐ育成会が中心となり実施する、共同作業所等で働く知的障害者の社会参加を促す交流や余暇活動を支援しました。

# ●視覚障害児者支援

5,000円

草津点字グループあゆみ会に情報紙の点訳を依頼し、視覚障害者への情報提供を行いました。

# ●いきいきふれあい大運動会助成

50,000円

草津市心身障害児者連絡協議会が主催しているいきいきふれあい大運動会事業へ助成し、活動を 支援しました。

## ●子ども福祉活動助成

65,000 円

草津市子ども会指導者連絡協議会が実施する福祉活動事業へ助成し、活動を支援しました。

# ●福祉機器リサイクル(貸出事業)

112,000 円

福祉用具(車椅子・補聴器)の貸出やリサイクル事業を実施しました。

	平成26年度	平成25年度	平成24年度
車椅子	140台	144台	162台
補聴器	9個	10個	4個

## ●福祉車両貸出

497, 431 円

家庭の事情や経済・身体状況などにより病院などの送迎が必要な方に対して福祉車輌を貸出すことで、安心・安定した生活が送れるようにボランティア登録していただいている送迎ボランティアに依頼し送迎を支援しました。

	平成26年度	平成25年度	平成24年度
ワゴンR	91台	98台	102台
デミオ	259台	267台	274台

	平成26年度	平成25年度	平成24年度	
送迎ボランティア数	9人	8人	10人	
送迎依頼者数	17人	19人	20人	
送迎対応件数	350回	365回	376回	

# ●「脳が目覚める」健康講座

50,000円

「日常生活の中で取り組める脳機能向上」と題して、「どうすれば認知症が予防できるか」を分かりやすく解説し、「脳の健康講座」の実践を続けてきた講師が、多くの教室現場から学んだ事を「脳のゲーム」を交えて「認知症になりにくい日常生活での工夫」のお話しを2会場で行いました。

○開催日:平成26年10月28日(火)

場 所:市社協1階大会議室

講 師:くもん学習療法センター総括マネージャー 杉江哲さん

対 象:市民

参加者:38人



○開催日:平成26年12月5日(金)

場 所:市役所8階大会議室

講 師:くもん学習療法センター総括マネージャー 杉江哲さん

対 象:市民 参加者:63人



# ●地域支え合い運送支援

3, 117, 992 円

地域の活動団体が主体となって実施する移動困難者の運送支援事業を支援しました。

7月に当事業を実施する学区を募集し、志津南学区、山田学区に車両を貸与することに決定し、8 月には軽自動車1台(志津南学区)、普通車1台(山田学区)を購入しました。また、周知を目的と した調印式や研修会の開催、そして運行実施学区を対象とした安全運転講習会や意見交換会を実施 し、円滑かつ安全に事業実施していただけるよう支援しました。

#### ○調印式

開催日:平成26年8月30日(土)

場 所:市社協

対 象:市社協理事・評議員、単位民児協会長、事業実施学区の住民、市社会福祉課

参加者:44人









#### ○安全運転講習会

開催日:平成26年10月8日(水)

場 所:市社協1階大会議室

内 容:送迎運転の心得

講 師:草津警察署交通安全課職員、市社協職員

対 象:送迎ボランティア

参加者:25人



# ○研修会

開催日:平成27年2月4日(水)

場 所:市社協2階研修室

内 容:地域支え合い運送事業~草津市でスタートした新たな地域福祉活動~

講 師:山田学区社会福祉協議会会長 岡 顯朗さん

志津南学区社会福祉協議会会長 小野 栄祐さん

対 象:学区社協関係者、まち協役員、民児協地域福祉部会員、市行政 等

参加者:60人







# ●高齢者介護者リフレッシュ

87,745 円

介護者の皆さんが日頃の介護から離れた場所で、心身ともにリフレッシュしていただくことを目的に、今年度は観光を重きに置いて実施しました。介護者どうしがバスにおいて交流し、湖南三山めぐりをし、住職の奥様の法話や、弁当を囲んだ懇談を含め、心と身体のリフレッシュをしていただきました。参加者からは「ストレスが充分発散でき、明日からやさしい気持ちで介護に望めそうだ」という声を聞くことができました。



開催日:平成26年11月12日(水)

内容:湖南三山(常楽寺・長寿寺・善水寺) めぐり

長寿寺での法話等

対 象:草津市内に住んでおられる寝たきりや認知症などの

高齢者を現在在宅で介護されている方

参加者:18人

# ●社会福祉功労者等表彰式典

175,964 円

市民ふれあい秋まつりと合同開催した「福祉を考える市民のつどい」において、長年活躍している地域福祉活動者やボランティアに対してその功績を称え表彰し、活動を応援しました。 また、社会福祉の向上のため寄附された個人や団体に感謝の意を表彰しました。

開催日:平成26年10月18日(土)

場 所:市役所8階大会議室

	内容	被表彰者
丰立小小	長年にわたり地域福祉活動の推進に尽力された方々	16人
表彰状	長年にわたり地域福祉活動の推進に尽力された団体	3 2 団体
	社会福祉の向上のため寄附いただいた方々	6人
感謝状	社会福祉の向上のため寄附いただいた団体	18団体
	社会福祉活動に積極的に協力され、その功績顕著な方々	4人





# (3)ボランティア活動の充実と住民参加の仕組みづくり

住民どうしがふれあい、いきいきと楽しく活動するボランティアの輪を広め、絆が実感 できるまちづくりを推進します。

# ●ボランティアセンター運営

1,037,329 円

ボランティアコーディネーターによるボランティアセンターの使命である住民の福祉力を高め、地域の生活課題の解決をすすめました。また、幅広い方がボランティア活動に興味をもてるように、情報提供などを通じて、市民活動の振興に努めました。

・地域サロン依頼 20件

• 団体依頼 5 4 件

・個人依頼 4件

#### 【登録ボランティアの推移】

	ボランティアグループ		/m r is - v - v -	A 31 78 A3 1 M.
年度	グループ数	人数	個人ボランティア	合計登録人数
平成21年度	113団体	1,885人	76人	1,961人
平成22年度	133団体	2,295人	95人	2,390人
平成23年度	140団体	3,410人	41人	3, 451人
平成24年度	159団体	3,512人	11人	3, 523人
平成25年度	207団体	4,349人	8人	4,357人
平成26年度	309団体	4,793人	22人	4,815人

# ●ボランティア保険・ボランティア連協加入促進

59,850円

ボランティア活動が安心しておこなえるよう「ボランティア活動中のさまざまな事故によるケガや 損害賠償責任を補償する」ボランティア活動保険の加入を促進し、ボランティアどうしの横のつなが りを深めるために市ボランティア連協への加入促進に努めました。

保 険 種 類		平成26年度
ボランティア活動保険	Aプラン	2,364人
	Bプラン	817人
	天災A	14人
	天災B	48人
	連協加入	849人
ボランティア行事用保険		224件
送迎サービス保険		1件
福祉サービス総合補償		9件

## ●ふれあい基金活動助成

90,000円

ボランティア活動の裾野拡大を目的に滋賀県社会福祉協議会より活動助成を受け、音羽菊女治会に対して扇購入代を助成しました。

## ●収集ボランティア啓発

10,000円

身近にできるボランティア活動として広めるために、使用済み切手、カード、書き損じはがき、プルトップ、ペットボトルキャップなどの収集に努めました。

・使用済み切手98件・使用済みカード14件・書き損じはがき2件・プルトップ144件

・ペットボトルキャップ 346件 (730.5kg)





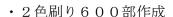


# ●ボランティアグループリスト作成

129,000円

ボランティアグループ間で情報を共有していただき、活動の活性化につなげることや、ボランティアを必要としている方に情報を発信することを目的に作成しました。

ボランティアグループと地域サロンを一緒に記載することで、地域サロンに参加する機会が増え、地域でのボランティアの輪が広がることを期待しています。今年度は、地図を掲載することで、活動拠点がわかるようになり、活動の周知をより効果的にしました。



平成26年度

地域サロン活動リスト

・配付先:登録ボランティアグループ、地域サロン、各学区社協会長、各学区民児協、市役所、 地域包括支援センター、コミュニティ事業団、各市民センター、各図書館、隣保館等

# ●福祉教育の推進・ボランティア体験教室

|104, 162 円|

ボランティア活動や地域福祉活動の理解を広げるため、ボランティア体験教室を行い、学校等へ福祉教育を支援しました。

	点字体験	手話体験	盲導犬の理解	計
小学校	3 回	4 回	1 回	8回
中学校	1 回	0 回	1 回	2 回
計	4 旦	4 回	2 回	10回

# ●ボランティア入門講座(ボランティアはじめま専科)の開催

45,440円

今、ボランティア活動が注目されています。しかし、ボランティア活動に関心はあるものの「どのように活動すればいいのかわからない」「参加するきっかけがない」などの理由から活動に参加できない方のきっかけづくりや、ボランティアの裾野を拡げることを目的に実施しました。68人の皆さんが受講され、ボランティアフェスティバルでの市ボランティア連絡協議会の交流会の参加も促し、ボランティアグループへの加入にも貢献しました。

○第1回「ボランティア入門基礎講座」

開催日:平成26年10月16日(木)

場 所:市社協大1階会議室

内 容:住民参加「お互いさま」のまちづくり

講 師:大谷大学 教授 山下 憲昭さん

対 象:市民 参加者:27人

○第2回「ボランティア入門体験 I」

開催日:平成26年10月24日(金)

場 所:市社協1階大会議室

内 容:①点字体験

②身近な物で手づくり体験

講師:①点字グループあゆみ会

②地域福祉サポーターとんかち

対 象:市民 参加者:13人

○第3回「ボランティア入門体験Ⅱ」

開催日:平成26年10月30日(木)

場 所:市社協1階大会議室

内 容: 傾聴ボランティア体験

講師:子ども子育て応援センター

心のダイヤル相談員 高橋 美恵子さん

対 象:市民 参加者:18人

○第4回「ボランティア入門体験Ⅲ」

開催日:平成26年11月8日(土)

場 所:市社協

内 容:ボランティアフェスティバル

市ボランティア連絡協議会交流会での

体験

対 象:市民 参加者:10人















# ●「よみ~な」の発行

75, 385 円

ボランティア活動の支援や情報提供の一環として2回発行しました。

配布先:市ボランティアセンター登録グループ、市内福祉施設、学区社協、学区民児協、人権センター、市民センター、シルバー人材センター、隣保館、コミュニティ事業団、図書館、アミカホール等

	発 行 号	内容
1	平成26年5月号	新規職員紹介、市社協助成、
1 平成20年3月亏	県社協ふれあい基金助成、民間助成	
2	平成27年3月号	社協文庫、民間助成、第3回ボランティアフェスティバルの報告、
2 平成27年3月亏		平成27年度ボランティア活動保険案内、ボランティア募集

# ●移動ボランティアセンター

1,384 円

イベントや企業に出向き、ボランティア活動の理解と参加の促進を図りました。

開催日	事 業 名	内容
		草津市ボランティアセンターの
		啓発、手話・点字の体験、盲導犬・
平成26年5月9日(金)	オムロンデー	介助犬の理解、AED体験、車イ
		ス体験、高齢者擬似体験、ぞうき
		ん縫い
		地域サロン貸出備品の紹介・体
6月8日(日)	老上学区ボランティアまつり	験、折り紙コーナー、ボランティ
		ア相談・受付コーナー
		ガチャガチャ共同募金、「ふくち
		ゃん」着ぐるみ啓発、「ふくちゃ
10月18日(土)	福祉を考える市民のつどい	ん」グッズ販売、民生委員児童委
		員パネル啓発、地域サロン備品紹
		介、市社協事業パネル啓発

# ●市ボランティア連絡協議会助成

60,000円

ボランティアグループの横のつながりを強化し活動を広げるため、ボランティア連絡協議会活動を 支援しました。

○加入グループ 49グループ (会員数849名)

# ●ボランティア団体共同募金助成

400,000円

市ボランティアセンターに登録しているグループを対象にボランティア活動の推進を図ることを目的に、1 グループに対して 5 , 0 0 0 円を助成しました。

○助成団体数 : 80グループ

## ●ボランティアフェスティバル

685, 290 円

ボランティア活動に参加するきっかけや、市内の地域福祉活動を知るきっかけになることを目的に、 楽しく交流・体験できるイベントを開催しました。人と人、人と地域のつながりをカタチにし、地域福 祉活動を通して生まれる笑顔と温かい心をジャンルや年齢を越えて共有できる場をつくりました。

開催日:平成26年11月8日(土)

場 所:市社協

内容:

- ・地域医療福祉講演会 草津総合病院副理事長 小山 茂樹さん
- ・子ども福祉映画会『5等になりたい。』『おまえうまそうだな』
- ・おいしい紅茶の淹れ方セミナー
- ・うどん打ち体験
- ・オープニングセレモニー キセキの風船とばし
- ・ふろしき DE ラッピング
- ・ボランティア交流会 (ボランティア連絡協議会主催)
- かづきれいこのココロを元気にするメイクセミナー
- ・活動啓発、フード販売
- ・お楽しみ抽選会、スタンプラリー

対 象:市民 参加者:750人

運営ボランティア:57人









## ●災害ボランティアセンター

91,423 円

今年度草津市と災害ボランティアセンター運営に関する協定を結びました。

受付班・ニーズ班・マッチング班の3班に分かれてボランティアの受け入れや被災者の依頼の整理、ボランティア派遣等のセンター業務を体験しました。また、民間の災害時支援活動を学ぶため、草津総合病院の髙尾先生からDMAT・災害拠点病院についての講話を聴き、阪神淡路大震災時に市内から一番最初に現地支援に向かった草津市赤十字奉仕団から当時の活動についての説明を受け、現地の炊き出しメニューのきつねうどんを試食しました。

目 的:災害発生時の草津市災害ボランティアセンターの運営を円滑かつ効果的に進めるとともに、

同センターの運営を担う運営協議会の構成団体間の連携を深める。

開催日:平成27年1月31日(十)

場 所:市社協

内 容:災害ボランティアセンターの運営に係る活動業務の確認

対 象:災害ボランティアセンター運営協議会構成団体

参加者:63人

日 程:

9:00~ 9:05	開会				
9:05~ 9:45	全体会 講話 災害時の民間の支援活動 DMAT・災害拠点病院について 【草津総合病院】				
9:45~10:00	オリエンテーション (今回の訓練の目的、ポイント・日程等の説明)				
10:00~11:10	災害ボランティアセンター運営訓練				
	訓練①				
	・センター設営(テント立て、机・椅子・備品の設置など)				
	・設営チェック(センターの開所に向けて、班ごとに配置や必要備品等を点検)				
	・再設営(不足備品の追加、センター開所準備、役割分担等の協議・決定)				
	訓練②				
	・センター開所(ボランティアやニーズの受付から帰所・報告までの流れを実践)				
11:10~11:45	班ごとにわかれて訓練のふり返り				
11:45~12:00	全体会 各班から発表				
12:00~12:20	総評 県社協の取り組みと地域に期待すること 【滋賀県社会福祉協議会】				
12:20~12:40	大規模災害被災地での活動について・炊き出し 【草津市赤十字奉仕団】				
12:40~13:00	後片付け				
13:00	閉会				

# ●民間助成の支援(意見書作成)

高齢者・児童・障害児者福祉活動を資金面で応援するため、各種機関から助成制度があり、意見書を添付することで民間助成を支援しました。

○一般財団法人 松翁会 社会福祉助成金 (社会福祉法人若竹会)

○生命保険協会「元気シニア応援団体に対する助成活動」 (特定非営利活動法人あかるくする会)

○地域福祉活動振興基金(内藤基金)助成 (社会福祉法人こなんSSN)

○大阪ガスグループ福祉財団「高齢者福祉助成」 (特定非営利活動法人あかるくする会)

○しがぎん福祉基金助成 (社会福祉法人若竹会)

(社会福祉法人こなんSSN)

○滋賀県社会福祉協議会 子ども未来基金子育て支援活動助成(特定非営利活動法人NPO子どもネッ

トワークセンター天気村)

(くさつ親子 d e ☆冒険遊び場)

(玉川学区子育て応援団ネットワーク玉

っこひろば)

○滋賀県社会福祉協議会 ふれあい基金助成 (音羽菊女治会)

20

# (4)地域生活を支える事業の推進

- ① 地域福祉権利擁護事業を充実します。
- ② 心配ごと相談・貸付事業を充実します。
- ③ 小地域福祉活動における民生委員・児童委員と連携します。
- ④ 行政・専門機関、福祉専門職との連携強化を図ります。

#### ①地域福祉権利擁護事業の充実

#### ●自立生活支援専門員、生活支援員による生活支援

3,366,581 円

判断能力が充分でないため、毎日の暮らしのなかで福祉サービスの利用手続きや日常のお金の管理が不安な人が、地域で安心して生活を送れるように支援する地域福祉権利擁護事業の充実に努めました。自立生活支援専門員により相談、契約、支援計画を作成し、生活支援員と共に計画に基づく支援を行いました。

○自立生活支援専門員、生活支援員による生活支援

自立生活支援専門員による相談、契約、支援計画を作成し、生活支援員による計画に基づく支援 を行いました。

#### 【相談件数】

	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
高齢者	373件(135件)	148件(99件)	294件	91件	123件
知的障害者	459件(119件)	222件(44件)	238件	97件	9 2 件
精神障害者	556件(273件)	313件(150件)	240件	118件	81件
その他	8件( 3件)	3件(0件)	8 5 件	2 4 件	6件
計	1,396件(530件)	686件(293件)	857件	330件	302件

※平成26年度からは、支援員が支援した件数も計上しました。

※( )は生活保護受給者からの相談件数です。

#### 【契約人数】

	平成25年度	平成26年度	平成26年度	3月末現在契約件数
	契約件数	解約件数	新規契約件数	(内生活保護)
	(A)	(B)	(C)	(A) - (B) + (C)
高齢者	9人	4人	4人	9人 (4人)
知的障害者	20人	0人	4人	24人(5人)
精神障害者	11人	0人	2人	13人(5人)
身体障害者	0人	0人	0人	0人(0人)
合 計	40人	4人	10人	46人(14人)

#### 【契約人数の推移】

	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
高齢者	9人	9人	10人	16人	25人
知的障害者	24人	20人	19人	21人	12人
精神障害者	13人	11人	12人	10人	6人
その他	0人	0人	0人	1人	1人
計	46人	40人	41人	48人	44人

#### 【支援回数】

	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
支援回数	736回	690回	736回	721回	559回
内生活保護受 給者支援回数	276回	289回	222回	283回	264回

#### ○関係機関との連携

各利用者のケース会議やケアカンファレンスに随時参加

#### 【行政会議への参画】

- ・高齢者虐待判定・対応方針会議(年/6回)
- 権利擁護事例検討会 (随時)
- ・地域包括支援センター、長寿福祉課からの相談件数77件

#### ○支援専門員の体制

支援専門員の複数制を導入(3人)

# ●地域福祉権利擁護事業の啓発

- ・パンフレットを作成し、民生委員児童委員定例会にて周知しました。
- ・福祉を考える市民のつどいにてパネル展示を実施し周知啓発を行いました。









## ●生活支援員の研修会の開催

生活支援員のスキルアップのための研修会を開催しました。

○生活支援員の配置:20人(男性:5人、女性15人)

#### ○生活支援員の研修

• 市社協主催研修

生活支援員研修会

開催日:平成26年6月25日(水)

場 所:市社協1階大会議室

内 容:成年後見制度~高齢者との関わりを通して~

講 師:政田 節子さん

対 象:生活支援員

参加者:9人

平成26年度草津市社会福祉協議会講演会

開催日:平成26年11月8日(土)

場 所:市社協2階研修室内容:地域医療福祉講演会

講 師:草津総合病院副理事長 小山 茂樹さん

対 象:生活支援員

参加者:4人

#### • 県社協主催研修

生活支援員/新任職員研修会

開催日:平成26年7月10日(木) 平成26年7月25日(金)

場 所:県社協

内容:対人援助技術とコミュニケーション、権利擁護とは、地域福祉権利擁護事業について

講師: NPO法人おうみ犯罪被害者支援センター理事 松村 裕美さん

NPO法人甲賀・湖南成年後見センターぱんじ一所長 桐高 とよみさん

滋賀県社会福祉士会ぱあとなあ滋賀社会福祉士 小西 加津代さん

滋賀県社会福祉協議会 生活支援部相談支援担当職員

対 象:生活支援員

参加者:6人



平成26年度地域福祉権利擁護事業生活支援員/新任職員研修会

開催日:平成26年11月17日(月)

平成26年11月19日(水)

平成26年11月25日(火)

平成26年12月12日(金)

場 所:県社協

内 容:知的障害者の理解と支援について、認知症の人の理解と支援について

精神障害者の理解と支援について、成年後見制度について

講師:社会福祉法人虹の会アイリス施設長 川島 和久さん

瀬田川病院医師 水元 洋貴さん 佛教大学教授 篠原 由利子さん

NPO法人成年後見センターもだま所長 園田 まさみさん

対 象:生活支援員

参加者:6人

## ②心配ごと相談・貸付事業の充実

## ●心配ごと相談所開設

1,628,008 円

住民の皆さんの身近なくらしの相談窓口としての「心配ごと相談所」を開設し、相談機能の充実 を図りました。

- ・月曜日から金曜日に開設しました。
- ・弁護士相談は、原則第1・第3水曜日に開設しました。
- ・「草津市役所社会福祉課前相談室」にて毎週月曜日に出張心配ごと相談所を開設し、より多く の市民のみなさまに利用していただけるよう取り組みました。
- ・年4回発行の市社協広報紙「社協くさつ」に毎回掲載し、周知に努めました。

内容	平 成	平成	内容	平 成	平成	内容	平 成	平成
1.14 <del>1.</del>	2 6年度	2 5 年度	r 1 47	26年度	25年度	r 1 <del>(1)</del>	26年度	25年度
離婚	16件	29件	生計	225件	282件	精神保健	3件	5件
家族	23件	22件	財産	31件	15件	苦情	22件	24件
人権・法律	2件	2件	住宅	10件	6件	職業・生業	2件	6件
事故	7件	6件	消費者問題	1件	3件	医療	0件	6件
結婚	2件	1件	環境	0件	2件	高齢者福祉	2件	6件
年金	2件	1件	児童福祉	0件	0件	教育・青少年	0件	0件
心身障害児童福祉	1件	3件	母子父子福祉	0件	0件	その他	96件	5 4 件
			計				445件	473件

# ●相談員連絡会の開催

年6回開催し、相談員どうしの情報交換やスキルアップのための研修会を実施しました。

#### ○相談員研修会

開催日:平成26年11月19日(水)

場 所:草津市立アミカホール 内 容:「離婚」についての講義

講 師:京町法律事務所 弁護士 田口 勝之さん

対 象:相談員 参加者:5人

# ●高額介護サービス費貸付

10,000円

介護保険利用者の自己負担額を超えた額を貸し付ける事業を受託していますが、貸付件数は0件でした。

# ●生活つなぎ資金貸付

2,782,627 円

民生委員児童委員と連携し、一時的に生活困難に陥った世帯に生活のつなぎの資金として貸付けしました。

#### 【貸付相談件数】

	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
貸付相談件数	71件	78件	137件	91件	81件

## 【貸付状況】

	<b>平成26年度</b> 平成25年度		平成24年度	平成23年度	平成22年度
貸付件数 59件		56件	66件	49件	6 3 件
貸付額	2,660,000円	2,510,000円	2,860,000円	1,921,500円	2, 580, 000 円

# ●生活福祉資金貸付

4,082,552 円

生活福祉資金相談員による生活福祉資金の貸付相談や貸付手続きをし、借受人の自立に向けて支援をしました。

#### 【貸付相談件数】

	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
貸付相談件数	113件	131件	164件	177件	170件

#### 【貸付件数】

	総合	福祉	資金	教育支	不動産担保	臨時特例	生活復	
	支援	緊急小口資金	福祉費	教育文   接資金	小助座担保   型生活資金	つなぎ資	興支援	計
	資金	※心小日貝並	佃仙其	1反貝立	空工伯貝並	金	資金	
平成 26 年度	9	4	8	10	1	0	0	32
平成 25 年度	9	9	7	7	0	0	0	32
平成 24 年度	17	12	3	14	2	0	0	48
平成 23 年度	28	14	3	10	0	0	1	56
平成 22 年度	31	13	8	6	0	3		61
平成 21 年度	6	54	2	5	0	3		70

#### ③小地域福祉活動における民生委員・児童委員との連携

## ●草津市民生委員児童委員協議会事務局

毎月23日を定例として総務会、必要に応じて総務委員会を開催し、単位民児協の活動を支援しました。また、市民児協に組織されている部会(5部会2委員会1連絡会)が有効に機能するよう支援しました。

さらに、市社協職員の学区担当制による情報提供やアドバイスを行い、個別援助活動が円滑に行われるよう民生委員児童委員活動に支援・協力しました。

# ●独居高齢者電話訪問

53,616 円

70歳以上の一人暮らし高齢者で話し相手を希望する方に傾聴ボランティアが、電話訪問することで孤立や孤独に陥らないように支援しました。傾聴ボランティアの情報交換やスキルアップの場として、傾聴ボランティア連絡会において精神保健福祉士に助言をいただき、毎月第2金曜日に開催しました。

#### 利用者:11人 傾聴ボランティア:7人

	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度(11月より実施)
電話訪問回数	157件	126件	87件	1 1 件

#### ○傾聴ボランティア連絡会

精神保健福祉士の久保憲二さんに助言をいただきながら、年12回開催し、報告や意見交換を行いました。

#### ●歳末たすけあい配分

5, 139, 151 円

支援が必要な世帯への見舞金の配布、福祉施設、団体等への活動を支援し、一時的に支援が必要な世帯に、緊急に食糧を支給しました。

- ○市内の準要保護世帯への見舞金(対象世帯:545世帯)
- ○福祉施設、団体等への見舞金(32施設)
- ○一時的に支援が必要な世帯に、緊急の食糧支援(43件)

## ④行政・専門機関、福祉専門職との連携強化

#### ●社会福祉推進連絡会議の開催

市健康福祉部との連携を深めるために毎月10日前後に連絡会を開催しました。

#### (参加者)

市健康福祉部:理事、副部長、社会福祉課長、地域福祉推進グループ長、参与

市社協:事務局長、課長、グループ長、副参事

#### (協議内容)

市社協の事業計画、市社協の事業進捗状況、市社協の来年度に向けての職員体制、市補助事業の整理、予算執行状況、市の地域福祉活動の考え方、市の来年度事業、市社協の財源状況、市社協の重点事業等

# ●赤十字事業の推進(日本赤十字社滋賀県支部草津市地区事務局)

日本赤十字の社資(社費や寄付金)募集や、宿場まつりなどにおいて赤十字活動の普及を図りました。5月の赤十字月間には、「世界赤十字デー周知キャンペーン」として、草津駅・南草津駅にて啓発活動を行いました。また、赤十字の活動を支えるボランティアである草津市赤十字奉仕団の活動を支援し、ボランティアフェスティバルや災害ボランティアセンター設置訓練等において、奉仕団活動のPRを行いました。







## ●中間支援組織連携

51,202 円

地域のまちづくりや地域福祉推進に必要な情報の発信を行うため、草津市コミュニティ事業団と 協議を重ねました。レンタルねっと☆くさつ等の総合サイトの設置や、市民ふれあい秋まつりの開 催、災害ボランティアセンター運営をはじめとした事業連携にも力を入れました。

# ●社会福祉援助技術現場実習

14,580円

社会福祉の専門家をめざす学生に、人材育成の一環として実習の場を提供しました。

大学名	人数	実習期間
大谷大学	1名	平成26年10月8日~平成26年11月14日(28日間)

# (5)市社協の基盤づくり ---

- ① 役員と事務局体制の強化
- ② 会員制・会費制の維持発展をめざす取り組み
- ③ 地域福祉活動推進に要する財源確保
- ④ 学区社協活動をはじめとした地域福祉活動支援

#### ①役員と事務局体制の強化

# ●第三者委員会の設置

苦情対応窓口を設置し、苦情解決の第三者委員を配置しています。

開催日:平成27年3月18日(水)

場 所:市社協1階ボランティア活動室

内容:①これまでの苦情等の報告について

②意見交換

③第三者委員の継続委嘱について

# ●役員会の開催ならびに研修会の開催

284,004 円

理事会・評議員会・正副会長会を定期的に開催すると共に理事等の地域福祉研修会を実施し、役員 体制の強化を図りました。

## ○正副会長会

	開催日	議案
第一回	平成26年5月28日(水)	1) 市社協理事会・評議員会の議案について
		2) 市共募理事会評議員会の議案について

## ○理事会・評議員会

#### (理事会)

	開催日	議案
第1回	平成26年 5月 1日 (木) (文書審議)	1) 評議員の選任につき同意を求めることについて
第2回	5月30日(金)	1) 評議員の選任について 2) 平成25年度事業報告について
		3) 平成25年度収支決算について
第3回	9月 4日 (木)	1) 評議員の選任につき同意を求めることについて
	(文書審議)	
第4回	10月 6日(月)	1) 評議員の選任につき同意を求めることについて
	(文書審議)	
第5回	11月12日(水)	1) 評議員の選任につき同意を求めることについて
第6回	平成27年 3月 6日(金)	1) 平成26年度資金収支第2次補正予算案につい
		て
		2) 平成27年事業計画案について
		3) 平成27年資金収支予算案について

## (評議員会)

	開催日時	議案
第1回	平成26年 4月 1日(火) (文書審議)	1) 理事の選任につき同意を求めることについて
第2回	5月30日(金)	1) 平成25年度事業報告について 2) 平成25年度収支決算について
第3回	平成27年 3月20日(金)	<ol> <li>平成26年度資金収支第2次補正予算案について</li> <li>平成27年度事業計画案について</li> <li>平成27年度資金収支予算案について</li> </ol>

#### ○役員研修会

「第1回地域福祉活動ステップアップ講座」として、理事・監事・評議員等に研修と市社協事業を実 感していただけるように第3回ボランティアフェスティバル内で実施しました。

開催日:平成26年11月8日(土)

場 所:市社協2階研修室内容:「地域医療福祉」

講 師:草津総合病院副理事長 小山 茂樹さん

対 象:理事、評議員、監事

参加者:178人

## ●職員会議、職員研修の開催

人権研修や地域福祉コーディネータースキルアップ研修を実施しました。

また、職員会議では、毎月の事業の進捗状況を確認しつつ、草津市の地域福祉活動の展開や社会福祉の動向等を意見交換する場をつくり職員同士の連携を図りました。

#### ○職員会議

毎月職員会議を実施し、事業進捗状況の確認や事業内容の確認など意見交換を実施しました。

#### ○職員研修の実施

本会と共に中間支援組織の指定を受けている市コミュニティ事業団の職員と学習する場をもち、連携を密にするとともに職員の資質向上に努めました。

#### 第1回

開催日:平成26年4月25日(金) 内 容:日本における非営利組織

講 師:認定NPO法人しがNPOセンター 阿部 圭宏さん

参加者:市社協職員、市コミュニティ事業団職員

#### 第2回

開催日:平成26年6月3日(火)

内 容:協働のまちづくり条例における中間支援組織の役割 講 師:認定NPO法人しがNPOセンター 阿部 圭宏さん

参加者:市社協職員、市コミュニティ事業団職員

#### • 第3回

開催日:平成26年7月29日(火)

テーマ:両組織が業務上関わりの深いボランティアとNPOについて

講 師:認定NPO法人しがNPOセンター 阿部 圭宏さん

参加者:市社協職員、市コミュニティ事業団職員

## ●地球温暖化防止推進

- ・「ゴーヤーカーテン」を活用し、夏季のエアコン使用量の削減に努め、地球にやさしい取り組みを市 民に伝えました。
- ・待機時消費電力の削減に努めました。
- ・ミスプリントの削減やペットボトルキャップ、プルトップ、書き損じ葉書や使用済み切手の回収に 取り組み、エコ意識を高めました。





#### ②会員制・会費制の維持発展をめざす取り組み

## ●「社協くさつ」での情報公開

「社協くさつ」やホームページのみでなく、SNSの活用も含めて積極的に情報発信しました。

## ●市社協会費

#### 【会員制度】

	平成 26 年度	平成 25 年度	平成 24 年度	平成 23 年度	平成 22 年度
一般会員	31,819 世帯	30,792 世帯	30,718 世帯	33,355 世帯	32,846 世帯
一双云貝	4,772,850円	4,618,800 円	4,607,700 円	5,003,250 円	4,926,900 円
賛助会員	696.8 □	706. 2 □	721.8 □	770.8 □	756.6 □
1	3, 484, 000 円	3,536,000 円	3,609,000円	3,854,000 円	3,783,000 円
計	8, 256, 850 円	8, 149, 800 円	8,216,700 円	8,857,250 円	8,709,900 円

#### ③地域福祉活動推進に要する財源確保

#### ●共同募金(赤い羽根・歳末たすけあい)運動の推進

民間福祉事業の振興を図るために10月1日から12月31日まで、全国的に展開される「赤い羽根共同募金運動」を推進しました。

赤い羽根共同募金	10,999,003円
歳末たすけあい募金	6,682,022円
計	17,681,025円





## ●入れ歯リサイクル

入れ歯のリサイクルについて周知・啓発し、リサイクル箱を市民センターなどに設置し財源確保に 努めました。

## ●「社協くさつ」有料広告

市社協広報紙「社協くさつ」に有料広告を掲載し財源確保に努めました。

#### ○広報啓発企業

- 6月15日号…木川営農組合、いなだ社会福祉士事務所・稲田行政書士事務所、街三王都市開発、 完全健康整体庵
- 11月1日号…木川営農組合、いなだ社会福祉士事務所・稲田行政書士事務所、셰三王都市開発、 草津総合病院
- 3月15日号…木川営農組合、いなだ社会福祉士事務所・稲田行政書士事務所、街三王都市開発、 (株明治 京都オフィス、アーバンホテル草津

# ●善意銀行・災害復興基金の活用と運用、寄附金の募集 ボランティア基金の活用と運用、寄附金の募集 【寄附金状況】

■ H1 L11 → F-\D C D C D								
寄附名	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度	
	寄附金額		寄附金額		寄附金額		寄附金額	
社会福祉推進資金	17 件	1,528,288 円	15 件	363,002 円	11 件	245, 698 円	26件	696, 912 円
ボランティア基金	14 件	309, 294 円	12 件	365, 626 円	10 件	254, 423 円	6件	43, 453 円
善意銀行	23 件	665, 356 円	17 件	544,714 円	18 件	448, 553 円	11件	433,000 円
災害復興資金	1件	11,428円	13件	588,750円	13 件	657, 300 円	2件	60,000円

2,514,366 円 57 件 1,862,092 円 52 件 1,605,974 円 45 件 1,233,365 円

**【寄附物品状况】** 車椅子 2 台(138,000 円相当)

56 件

#### ④学区社協活動をはじめとした地域福祉活動支援

# ●学区社協会長会の実施

計

424,659 円

学区社協会長どうしの情報交換や福祉のまちづくりを推進する会議を実施しました。

日時	協議内容
平成26年	・学区・区社会福祉協議会の総会資料について
4月21日(月)	・地域福祉活動の支援強化について
	・市審議会等の委員の推薦について
	・平成26年度学区社協会長会年間計画について

# 5月20日(火)・地域支えあい運送支援事業について ・平成26年度福祉活動推進員育成講座の開催について ・「第64回社会を明るくする運動」の街頭啓発の協力依頼について 6月19日(木) ・地域支え合い運送支援事業について ・平成26年度草津市社会福祉協議会会費について ・地域サロン補助金の交付について ・各委員会等委員の委嘱について ・戦没者追悼式典について ・敬老会について ・第3回ボランティアフェスティバルについて 7月22日(火)・地域支え合い支援事業について ・平成26年度草津市社会福祉協議会会長表彰候補者の推薦について ・平成26年度赤い羽根共同募金運動協力依頼説明会の日程について ・ 平成 2 6 年度草津市社会福祉協議会賛助会員募集の予定について ・平成26年度福祉活動推進育成講座について ・第3回ボランティアフェスティバルについて ・平成26年度草津市社会福祉協議会講演会(役員研修)について 8月20日(水) ・平成26年度共同募金運動協力依頼説明会の日程について ・平成26年度共同募金街頭啓発について ・敬老会について ・地域福祉活動の支援強化事業について ・地域福祉活動推進委員会および各学区の進捗状況について ・地域支え合い運送支援事業協定書調印式について ・地域・医療・福祉講演会の開催について 9月22日(月) ・学区社協便覧について ・平成26年度送迎ボランティア安全運転講習会について ・地域・医療・福祉講演会の開催について ・地域福祉活動推進の支援強化について 10月20日(月) ・今後の敬老会事業のあり方について ・平成26年度新規地域サロンの申請について ・地域・医療・福祉講演会の開催について ・平和祈念フォーラムの参加要請について ・「2014地域福祉活動フォーラムinしが」について

12月11日(木)	・福祉活動推進員育成講座ステップアップ講座2の開催について ・平成26年度草津市地域サロン活動アンケート調査の実施について ・平成26年度草津市災害ボランティアセンター運営訓練の実施について ・各委員会等委員の委嘱について	
平成27年	・地域包括ケアシステムを目指す草津市の取り組みについて	
1月20日(火)	・平成26年度賛助会費および還付金の状況について	
	・地域サロンアンケート調査について	
	・民児協部会研修について	
2月20日(金)	・平成26年度地域サロン事業報告書および平成27年度地域サロン事業計画	
	書の提出について	
	・平成26年度学区社協補助金実績報告および平成27年度学区社協補助金 (予	
	定)額について	
		l

# ●学区社協活動共同募金助成支援

4,030,000 円

地域の支えあい活動を推進するための3本柱の活動「福祉の土壌づくり」「活動の担い手づくり」「個別援助活動」を支援しました。

# ●学区社協活動助成支援

650,000円

ボランティア活動を推進し地域での支えあい活動を支援するため、学区社協に対して活動助成を行いました。

# ●地域福祉コーディネーターよる学区社協活動支援

8,388,117 円

13学区すべてに地域福祉コーディネーターを設置し、1年度間を通じて学区社協活動に参加協力支援してきました。

## 【学区社協支援活動状況】

学区		学区	
志津	5 回	玉川	1回
志津南	18回	南笠東	9回
草津	4 回	山田	53回
大路	4 回	笠縫	4回
渋川	9 回	笠縫東	8回
矢倉	5 回	常盤	1回
老上	7 2 回	その他	5 9 回
		合計	252回

33

# ●福祉委員設置促進

69,324 円

学区社協との協働により「福祉委員の手引き」をもとに学習会などを開催し、福祉委員活動がより 効果的に行われるよう支援しました。





合計参加者:116人

NO.	開催日	開催日		参加者
1	平成26年 5月24日(土)	福祉委員の役割について	志津社会福祉協議会	25人
2	6月14日(土)	福祉委員の役割について	老上学区福祉委員会	34人
3	6月14日(土)	福祉委員の役割について	追分南町内会 福祉委員会	17人
4	12月17日(水)	高齢者が地域で元気に暮ら し続けるために	草津学区社協地域福 祉協力委員会	40人

# ●地域福祉活動推進の支援強化

575, 249 円

草津市協働のまちづくり条例の施行に伴い、中間支援組織として地域福祉コーディネート力を生かした地域福祉活動推進を図るため、「地域福祉活動推進委員会」を設置しました。さらに重点対象地域を選定し、地域福祉活動の推進を支援しました。







#### ○地域福祉活動推進委員会での取組み

開催日	内 容		
平成26年	第1回地域福祉活動推進委員会		
7月26日(土)	・「地域福祉活動推進の支援強化」について説明		
	・重点対象「老上学区」「山田学区」の地域福祉活動状況について報告		
	・今後の取り組みの確認		
12月20日(土)	第2回地域福祉活動推進委員会		
	・「老上学区」「山田学区」実践チームの活動報告(4月~12月)		
	・社会福祉活動にかかる課題について委員から報告を受け推進委員会で共有		
平成27年	第3回地域福祉活動推進委員会		
2月24日(火)	・重点対象「老上学区」「山田学区」への支援内容の報告		
	・上記をうけ、推進委員会のメンバーで意見交換		
	・次年度についての協議		

# ○重点対象地域の取り組み







# (老上学区)

実施日	内 容
平成26年	第1回地域福祉活動推進委員会
6月30日(月)	・平成26年度事業の点検を行い、内容の充実や廃止・新規等を検討
7月28日(月)	第2回地域福祉活動推進委員会
	・事業に対するアンケートと第1回委員会での検討結果をもとに意見交換を
	実施
9月22日(月)	第3回地域福祉活動推進委員会
	・社協事業の分析結果をもとにした次年度事業継続案についての意見交換を
	実施
11月17日(月)	第4回地域福祉活動推進委員会
	・第1次住民福祉活動計画「重点目標」の見直しに向けて、これまで出され
	た課題と、データでみる地域の変化を確認し、「こども」「おとな」「高齢
	者」の心配なことについてグループ討議を実施
平成27年	第5回地域福祉活動推進委員会
1月19日(月)	・第2次住民福祉活動計画案についての協議を実施

# (山田学区)







実施日	内 容		
平成26年	懇談会		
7月19日(土)	・「10年後の私たちはどんな暮らしをしているか?」 をテーマにグループ		
	ワークを実施		
8月18日(月)	第1回地域福祉活動推進委員会		
	・地域福祉活動の情報収集や住民の福祉意識の考え方などについての意見		
	交換		
11月18日(火)	作業部会		
	・第1次計画の評価、福祉懇談会からでた意見等を学区社協と市社協を中		
	心にまとめ、作成した第2次計画案について検討		
12月19日(金)	第2回地域福祉活動推進委員会		
	・第2次計画案について検討		
平成27年1月	作業部会		
	・第2回の委員会で出た意見を集約し、再検討		
1月26日(月)	第3回地域福祉活動推進委員会		
	・第2次計画案について再検討		

随時

- ・第2次計画について、学区社協会長と随時、意見交換を行った
- ・2回実施された医療福祉を考える会に参加
- 新規事業である「地域支え合い運送支援事業」を実施するにあたって、 協議を重ねた

# ●地域福祉活動集作成

10,283 円

学区社協便覧は各学区の特徴や学区社協の活動状況がわかるものとなっています。平成25年度につづき、平成26年度も各学区の住民福祉活動計画の進捗状況を掲載して、見直し・評価が必要な学区もある中、改めて計画について確認できるものとなりました。



